

# 防衛北海道

Bouei Hokkaido  
April 2015  
Hokkaido  
Defense Bureau  
Ministry of Defense



Vol.39



Photo : (上) 第66回さっぽろ雪祭り開会式で演奏する第11音楽隊(会場は、自衛隊制作の春日大社・中門) \*関連記事掲載  
(下左) 幻想的な輝きを放つ雪祭り会場の夜景(札幌大通公園) (下右) 雪像作りに励む北部方面隊の隊員(春日大社・中門)  
(写真提供: 第11旅団広報)

編集・発行 防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会  
札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎  
Tel.011-272-7579  
<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



# 札幌市で防衛問題セミナー開催！

北海道防衛局は、平成27年1月29日（木）に札幌アспенホテルにおいて、多くの方々を対象として「安全保障を考える！～日本周辺海空域における動向とわが国の防衛～」をテーマに防衛問題セミナーを開催しました。

冒頭、主催者である北海道防衛局長杉田宏一から、本セミナー等の場を通じて、防衛省・自衛隊の活動に対する御理解・御協力が得られるよう、防衛政策などについて丁寧な説明を心がけてまいりたい旨の開催挨拶を行いました。

講演は、防衛研究所地域研究部北東アジア研究室飯田将史主任研究官から「中国の海洋進出と日本の安全保障」と題し、中国の海洋進出の背景と狙い、安全保障秩序をめぐる米中の対立、東アジアの安全保障への影響などについて、海上自衛隊函館基地隊司令尾島義貴1等海佐から「海上自衛隊の現状と活動」と題し、海上自衛隊の組織・編成、主要装備品等、海上防衛力の意義・特性・役割、海上自衛隊の活動の概要と今後の展望について、それぞれ説明がなされました。

講演の後、「中国の海洋進出に伴い、具体的に自衛隊はこの後どういう行動をとり、彼らを阻止しようとしているのか。」との質問に対し、飯田主任研究官から、「南西方面でのプレゼンスを高めること、情報収集、監視能力を高めていくことが今の基本的な路線になってきている。」と答えるなど、活発な質疑応答がなされました。

会場には、開催地である札幌市のほか近隣市町村から大勢の方々が登場され、「わかっているようでわからない海洋権益を基とした中国の動向が良く理解できた。」、「日頃接点の少ない海上自衛隊の話が聞いて大変参考となった。」などの声が寄せられました。

当局では、今後も防衛問題セミナーなどを通じて、防衛政策や自衛隊の活動内容等について、多くの皆様に御理解を深めていただければと考えています。



北海道防衛局 杉田局長



セミナー会場の様子

## 講演① 「中国の海洋進出と日本の安全保障」 （防衛研究所地域研究部北東アジア研究室 飯田将史主任研究官）

- 海洋進出の背景と狙い
  - ・ 領土・主権問題を中国に有利に解決
  - ・ 「海洋権益」、「海外利益」の擁護
- 東シナ海での対日圧力の強化
  - ・ 東シナ海防空識別区の設定
  - ・ 自衛隊機への異常接近
- 米軍のプレゼンスに対する挑戦姿勢
  - ・ 西太平洋での史上最大規模演習
- 安全保障秩序をめぐる米中の対立
  - ・ 秩序維持を目指す米国と秩序変更を目指す中国
  - ・ 日米同盟を否定
- 東アジアの安全保障への影響
  - ・ 東アジア海域は秩序を巡る米中対峙の場に



防衛研究所  
飯田将史 主任研究官

## 講演② 「海上自衛隊の現状と活動」 （海上自衛隊函館基地隊司令 尾島義貴1等海佐）

- 海上自衛隊の組織・編成
  - ・ 定員約48,600人、大湊・横須賀・舞鶴・呉・佐世保に地方隊を編成
- 海上自衛隊の主要装備品等
  - ・ 護衛艦、哨戒ヘリコプター、潜水艦、固定翼哨戒機、救難飛行艇の紹介
- 海上防衛力の意義・特性・役割
  - ・ 冷戦後の外交的・警察的役割の重要性の増大
- 海上自衛隊の活動の概要
  - ・ 常続的海外活動、常続的警戒監視活動、安全保障環境の構築のための活動を実施
- 今後の展望
  - ・ あらゆる事態に即応できる態勢の構築を目指す



海上自衛隊函館基地隊司令  
尾島義貴 1等海佐

# 米軍航空事故等連絡会議開催

平成27年2月26日（木）、北海道防衛局において、千歳基地に係る米軍航空事故等連絡会議が開催されました。

この連絡会議は千歳基地及びその周辺において米軍による航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合等の対処に万全を期すため、関係機関相互間の緊密かつ迅速な連絡調整体制の整備等について連絡協議することを目的として平成19年1月に設置されました。

当日は、北海道をはじめ、千歳市、恵庭市など航空自衛隊千歳基地周辺の8市町、北海道札幌方面千歳警察署、千歳市消防本部など千歳基地周辺の4消防本部、第一管区海上保安本部、陸上自衛隊北部方面総監部、航空自衛隊千歳基地、計17機関20名が出席し、北海道防衛局からは、牧迫管理部長をはじめ戸上防衛補佐官、比内業務課長など10名の職員が出席しました。

会議では、牧迫管理部長の挨拶に続き比内業務課長から千歳基地に係る米軍航空事故等連絡会議規約ならびに緊急措置要領に基づく緊急連絡体制、被災者に対する救助活動の分担基準、緊急連絡通報の内容等について説明を行いました。

当局からの説明終了後は、北海道警察本部地域企画課安全対策第一課長補佐の井元(いのもと)警部より「日本国内における合衆国軍隊の使用する施設・区域外での合衆国軍用航空機事故に関するガイドライン」の概要について説明を受けるとともに、他県で行われた事故を想定した図上訓練や屋外での実働訓練の様子について写真を使用しながら説明していただきました。



会議の様



北海道防衛局 牧迫管理部長挨拶

このガイドラインは、日本国内で合衆国軍隊が使用する施設・区域外において米軍用航空機が墜落し又は着陸を余儀なくされた際に適用される方針及び手続きを定めるとともに、迅速かつ的確にガイドラインを実施するため関係当局は定期的な訓練を行うこと等を定めています。

会議に参加された関係機関の担当者は画面に見入りながら熱心に耳を傾けていました。

北海道防衛局では北海道や関係市町村及び関係各機関と連携を図りながら今後も会議を開催し、引き続き米軍航空機事故等が発生した場合の対処に万全を期す連絡調整体制の整備等に努めてまいります。

## 米軍航空事故等連絡会議構成機関

北海道	千歳市	苫小牧市	恵庭市	北広島市	長沼町
安平町	由仁町	栗山町	厚真町	千歳市消防本部	苫小牧市消防本部
恵庭市消防本部	北広島市消防本部	南空知消防組合消防本部	胆振東部消防組合消防本部	北海道警察本部	札幌方面千歳警察署
第一管区海上保安本部	航空自衛隊千歳基地	陸上自衛隊北部方面総監部	北海道防衛局		



## 陸上自衛隊 北部方面隊

### 「防災関係機関と綿密な連携を図る」

平成26年度北部方面隊災害対処指揮所訓練 ～「今秋のノーザンレスキューに向けて」～

北部方面隊は、1月20日から21日までの間、方面総監部及び道内各駐屯地等において、平成26年度方面隊災害対処指揮所訓練を行いました。

本指揮所訓練は「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震を想定して、北海道及び防災関係機関等と連携し、災害へ対処する能力の向上を図る。」ことを目的とし、総監部、方面隊各部隊等、海上自衛隊、航空自衛隊、北海道及び防災関係17機関が参加し、方面隊が独自開発した災害対処訓練統制支援システム（UMCEC E）を使用して行われました。参加した部隊及び関係機関は、各機能毎及び総合的な会議等により相互の情報を共有し、綿密な調整を重ね災害対処計画の実効性の検証と問題点及び対策を案出しました。

本訓練では便宜上、道災害対策本部を札幌駐屯地体育館に設置し、道をはじめ関係機関を配置するとともに、方面総監部は、方面連絡調整所を設置して各種調整などにあたりました。

それぞれの部署では、人命救助や物資輸送に必要なヘリコプターを効率的かつ、安全に運用するための調整や救援部隊等の現場への前進に必要な主要幹線道路・港湾・空港などの被害状況に関する情報共有などを自衛隊と関係機関の関係者が顔を突き合わせて調整する場面が随所に見られました。

また、ビジュアル化した地図の画像を遠隔地間で共有しつつ、相互の情報共有・調整等が行えるコンピューターシステムが方面総監部と関係機関の間で、初の試みとして運用され、その有効性及び将来の発展性を確認することができました。

さらに、道を始めとする各自治体、各行政機関、隊友会、各協力団体等の皆様の研修を通じて、自衛隊と防災関係機関等の災害対処における相互連携の現状の確認とその重要性を理解して頂きました。

北部方面隊は、今後も何時災害が発生しようとも即応できる態勢を整えるとともに、平成27年8月下旬に実施を予定している北部方面隊災害対処訓練（ノーザンレスキュー2015）に向けての第一歩を踏み出しました。



状況報告を受け指導する田邊総監



北海道災害対策本部会議の様子①



関係機関と相互の状況を確認



各調整所において調整する関係機関



北海道災害対策本部会議の様子②

### 第66回さっぽろ雪まつり支援無事に終了！ ～第11旅団～

第11旅団が大雪像の制作、市民雪像作成への助言及び雪輸送等の支援を行っていた、さっぽろ雪まつりは盛況の内に終了しました。

制作期間中には、季節外れの雨が降り雪像の一部が崩れてしまう等、アクシデントも発生しましたが、培った経験や制作隊長の適切な作業指示により、無事に完成させることが出来ました。大通6丁目会場に設けた広報コーナーでは、雪像が出来上がるまでの過程をDVDやパネルで紹介し、訪れた多くの方々から「大変な制作作業お疲れ様でした」、「見事な作品に感動した」など多数の労いの言葉が寄せられました。



広報コーナーでの様子（大通6丁目会場）

完成した作品は、会場を訪れた国内外235万人の方々を魅了するとともに、各ステージでの第11音楽隊の演奏も雪まつりに花を添え、多くの方々に夢と感動を与えることに貢献できました。

これも隊員一人一人が「自らの地位・職責、役割において、なすべきことをなした」結果であり、個々の力を結集した組織力を内外に示すことができました。

## 海上自衛隊 函館基地隊 ～大湊地方総監初度巡視～



函館基地隊は1月22日（木）に、大湊地方総監（総監：坂田竜三海将）の初度巡視を受閲しました。

巡視は、前日までの降雪で足元が悪い中、函館基地隊本部の構内点検や第45掃海隊の艇内点検等を実施、「寒さに負けず元気はつらつと任務に邁進している諸官と接し非常に頼もしく感じる。函館基地隊が昭和27年の開隊以来、62年にわたり津軽海峡及びその周辺海域における防衛警備、監視、災害派遣、爆発物等の調査及び処分、艦艇等に対する後方支援、そして広報業務等、国家防衛に大きな貢献を果たしてきたことに敬意を表する。今後ともこれまでの良き伝統を継承しつつ尾島司令を中心に、常に明朗闊達な隊風に満ち、精強にして即応性の高い函館基地隊を錬成、維持していくことを期待する。」と訓示を受けました。

総監は、初めての函館来訪ということもあり、自衛隊協力団体との懇親会にも参加、函館の歴史や土地柄に非常に高い興味を示され、また、函館の人々と触れ合い、和やかな時が流れました。



訓示を行う大湊地方総監



栄誉礼をうける総監



総監による巡視①



総監による巡視②

## 航空自衛隊 長沼分屯基地 ～最北の航空自衛隊高射部隊の在る基地～



長沼分屯基地は、石狩平野の素晴らしい景観を一望できる長沼町の馬追丘陵に位置し、周辺には温泉、スキー場、キャンプ場など各種施設が充実し、恵まれた環境にあります。



昭和46年に創立された基地には、第3高射群隷下にある第11高射隊及び第24高射隊が、我が国最北に位置する航空自衛隊高射部隊として所在し、長沼町はもとより周辺地域の皆様に支えられ、北の空を守る任務を担っています。そして、隊員は日々、お互いに切磋琢磨しつつ、各種事態に対する任務遂行能力の向上を目指して、様々な訓練に取り組んでいます。

平成26年10月5日には、長沼町主催の防災訓練に参加し、待機車1号等の器材展示、炊事車による炊き出し及び体験試食の支援を実施しました。特に、体験試食には行列ができるほどの人気振りでした。

当基地は、長沼町が主催する防災訓練や駅伝大会への協力等を通じて地域の方々とは良好な関係を保持しており、隊員にとっても、持続走訓練で町内を走っている際に町の方から掛けて頂く声援が、たいへん励みになっています。



長沼分屯基地から望む長沼町市街



ミサイル発射機



ミサイル搭載訓練



長沼町防災訓練への支援

# 北海道内の防衛施設



## 防衛施設歴史散歩

### ～遠軽駐屯地史料館を巡る～



史料館の外観

遠軽駐屯地史料館は、北海道の東北部、オホーツク総合振興局管内のほぼ中央に位置し、オホーツク海に面する1市6町1村の防衛警備、災害派遣等を担う第25普通科連隊が駐屯する遠軽駐屯地内にあります。当館は、昭和12年、旧農林省北見種馬所として建造され、その後、警察予備隊の移駐に伴い4連3大隊本部として使用し、昭和43年、駐屯地創立17周年記念行事の一環として開館しました。このため、駐屯地内の建物の中で築78年と最も古く、入口上部には馬の顔

が格子として施され、種馬所当時の趣が色濃く残されています。

警察予備隊の隊員は、現史料館（馬小屋）で起居し、凍てつく風雪に耐え、北の防人として厳しい生活を送り駐屯地の基盤を築き上げたことから、今では全国に知れ渡る遠軽駐屯地の代名詞「風雪磨人」という言葉が生まれました。

小さな史料館ですが、旧軍コーナーと自衛隊コーナーに分かれており、歴史の移り変わりが分かりやすく、手に取り観賞出来る資料も多く残されています。

館内に入ってまず目に付くのは、「日本の地質百選」に登録され、世界第1級鉱石として位置づけられている遠軽町白滝原産の黒曜石です。

また、地元有志の方々からの寄贈による数々の史料の中に、大変貴重といわれている第2次ノモンハン事件の史料や、戦時中に発刊された北海タイムス等の歴史的な史料も手に取って見ることが出来ます。

特に、「遠軽と言えばスキー」と語られる中でも、北部方面冬季戦技競技会で11連覇（昭和44年～54年）した際の賞状と、3連覇ごとに贈呈された優勝旗が立ち並ぶ姿は、破られることのない記録とともに圧巻です。

他にも、写真、軍服、美術品として登録されている軍刀、数々の貴重な史料、災害派遣活動資料、国際貢献活動資料等が展示され、「小さな史料館でも充実した史料館」となっており、毎年、300～400人の来場者が訪れています。

「地域と共に歩む遠軽駐屯地の中にある、趣のある史料館です。充実した各種資料や展示品を、是非一度来館してご覧下さい。」とのコメントを頂きました。

史料館見学申込みは、遠軽駐屯地第25普通科連隊広報班

電話：0158-42-5275（内線295/297） 入館無料、駐車場有



風雪磨人の碑



手に取り観賞出来る資料が並び



遠軽と言えばスキー

## 防衛施設所在の首長さんからのメッセージ



遠軽町 佐々木修一 町長

遠軽町は、オホーツク管内のほぼ中央、内陸側に位置しており、この地方の交通の要衝として、さらには、医療、教育の中心地として発展を続け、平成17年の町村合併により、全国町村で2番目の広大な行政面積を有するまちになりました。

遠軽地域には、国指定名勝「ピリカノカ」として、オホーツク管内で初めて指定された「瞰望岩」（がっぽういわ）、丸瀬布地域には、北海道遺産に認定されている森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」が運行している「いこいの森」、白滝地域には、日本一の黒曜石産地があり、そこを拠点に町全域をエリアとする「白滝ジオパーク」、生田原地域には、世界の木製玩具や藤城清治氏の影絵等を展示している「ちゃちゃワールド」などがあり、四季を問わず多彩な名所を豊富に有しています。

遠軽駐屯地は、地域住民の運動により、昭和26年3月に警察予備隊を誘致し、約1,200人の隊員が移駐したことに始まります。現在、隊員とその家族も含めると人口の約1割を占め、本町の経済、医療、教育の振興発展に欠かせない存在となっています。地域住民と遠軽駐屯地隊員との一体感はとても強く、平成24年4月第25普通科連隊がハイチにPKO派遣された際には、協力諸団体長や議会議長と共に私も現地で激励してまいりました。また、昨年6月、遠軽市街地の愛称「連隊通り」で隔年実施している「市中パレード」では、約1,500人の住民が詰め掛けるとともに、「富士登山駅伝競走大会」、「師団冬季戦技競技会」などの大会においても、協力諸団体をはじめとする多くの住民が現地応援に駆け付け、隊員に熱い声援を送っています。

今年の師団冬季戦技競技会では、見事に総合優勝を奪還しました。

今後においても、遠軽駐屯地と地域との絆をより一層深め、共に発展を続けられるよう、取り組みを進めてまいります。



「連隊通り」で実施された市中パレード

# 防衛施設と周辺地域との調和を図るために ～ 騒音防止事業（一般防音）の紹介 ～

今号では、騒音防止事業（一般防音）により、平成25年度から平成26年度にかけて文部科学省の補助による大規模な改築工事に併せて、防音工事を実施した「上富良野町立上富良野小学校」をご紹介します。

騒音防止事業（一般防音）は、自衛隊等の航空機の離陸、着陸等のひん繁な実施、機甲車両その他の重車両のひん繁な使用又は射撃、爆撃その他火薬類の使用のひん繁な実施により生ずる音響で著しいものを防止し、又は軽減するため、地方公共団体等が学校や病院等の施設について必要な工事を行うとき、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第3条第2項に基づき、その費用の全部又は一部を補助するものです。



203mm自走りゅう弾砲による射撃訓練

※一般防音の詳細については、「特別編集号P21（平成26年3月発行）」に掲載していますので、是非ご覧下さい。

〔 参考：北海道防衛局ホームページ  
[http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/kouhou/kouhou\\_special\\_1.pdf](http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/kouhou/kouhou_special_1.pdf) 〕

（写真提供：第1特科団WebSite）

上富良野小学校は、明治35年に設立された上富良野尋常小学校が前身であり、開校110年を超える歴史ある小学校で、校舎は昭和35年度建設の「1線校舎」をはじめ、昭和36年度建設の「2線校舎」、昭和45年度から昭和46年度建設の「3線校舎」を増築・改築しながら使用されてきました。

その後、上富良野町に所在する道北地方最大の上富良野演習場において、自衛隊の戦車や重火砲等による砲撃訓練等が頻りに実施され、これに起因する騒音（砲撃音）を防止し、又は軽減するため、昭和57年度から昭和60年度及び平成3年度に当局の補助事業により防音仕様の改造工事を行い、教育環境の改善が図られました。

しかしながら、本小学校の校舎等は経年劣化が著しく、平成21年度に耐震診断を実施したところ耐震基準を満たしておらず、大地震時に倒壊等の危険性が高いとの診断結果が得られたため、上富良野町は文部科学省の補助金による改築工事に併せて、上富良野演習場からの騒音（砲撃音）を防止し、又は軽減するため、騒音防止事業（一般防音）を当局に要望されました。

当局はこの要望を踏まえ、平成25年度から平成26年度に文部科学省との併行工事（※）として、その防音工事に要する費用を補助し、新しい校舎が平成26年7月に完成しました。

（※）併行工事：施設の新築又は増築等の工事に併せて、防音サッシや吸音材の設置及び空気調和設備の設置等を行う防音工事

当局としては、今後ともこのような学校の防音工事を行うなど、飛行場や演習場等の周辺地域の騒音防止事業に努め、住民の方々の生活や教育環境の改善を図ってまいります。

## 【防音工事の様子】

（写真提供：上富良野町）



防音サッシの設置



吸音材の設置



換気設備の設置



空気調和設備の設置

## 【学校関係者からの声】

地域に根ざした学校として校舎が新しくなり、児童や先生方からは、防音工事により騒音（砲撃音）が静かになり、また、校舎が暖かくなったなど、教育環境の改善が図られ大変喜ばれています。



新しくなった上富良野小学校

## 自衛隊函館地方協力本部

～函館地本紹介～



函館地本外観

函館地本は、昭和31年8月、自衛隊函館地方連絡部として産声を上げ、平成18年7月自衛隊函館地方協力本部に改編されました。

事務所として、函館地区隊、自衛隊リクルートセンター、今金地域事務所、八雲地域事務所、江差地域事務所、松前地域事務所があり、檜山支庁・渡島支庁管内で活動しています。

◎ 連絡先 自衛隊函館地方協力本部  
〒042-0934 北海道函館市広野町6-25  
電話：0138-53-6241 FAX：0138-52-6242  
HP：<http://www.mod.go.jp/pco/hakodate/>



## 採用予定者に対する部外広報

自衛隊函館地方協力本部（本部長：別府安紀1等空佐）は、11月29日（土）に陸上自衛隊函館駐屯地において採用予定者に向けて部外広報を実施しました。この広報は、採用試験合格者に対し、自衛隊の職場や生活環境を見もらうことで自衛隊に対する関心を高めてもらうとともに入隊前の不安を取り除いてもらうと企画したものであり、26名が参加しました。

駐屯地の見学では、生活隊舎の見学や食堂での体験喫食、若年隊員との懇談など、隊員たちが普段生活している様子を見学や、自分たちと年の近い隊員との懇談等を通じ、参加者からは「もっと窮屈で辛いイメージがあったけど、不安が払拭されました」といった声が寄せられました。

また、第11飛行隊の支援によるUH-1での体験搭乗を行い、参加者から「普段乗る事の出来ない航空機に乗れて良かった」などの感想があり、とても充実した1日だったとの声を頂きました。

体験搭乗の途中で雨が降ってくる等、肌寒い天気でしたが、参加者の笑顔が絶えない、充実した部外広報を行うことができました。



駐屯地食堂での体験喫食



生活隊舎見学



UH-1による体験搭乗

## 航空自衛隊音楽演奏会「大空のステージ in HAKODATE」

自衛隊函館地方協力本部（本部長：別府安紀1等空佐）は、平成27年2月7日（土）、函館市民会館において航空自衛隊北部航空音楽隊（隊長：松井徹生2等空佐）の支援を受け、音楽演奏会を開催しました。

この演奏会は、この春自衛隊に入隊（校）予定者並びにその家族、協力者及び市民を対象に毎年開催しているものであり、今回は、函館中部高等学校吹奏楽局が賛助出演し約1,100名の観衆を魅了しました。

第一部、函館中部高等学校吹奏楽局のマーチ「五稜の風」で演奏が始まり、勇壮さと繊細な音色を見事に表現して観客を酔わせ、最後の「ディープ・パープル・メドレー」では全員サングラスのパフォーマンスで会場を大いに沸かせました。

第二部の北部航空音楽隊は、航空自衛隊創隊60周年記念曲「風薫る」で幕を開け、昨年大ヒットした「アナと雪の女王」では映画のシーンを思い出し観客が口ずさむなど会場と一体となった演奏会となりました。最後はこの春、航空自衛隊に入隊を予定している女子生徒から隊長に花束が贈呈されると、アンコールの拍手が沸き起こり函館中部高等学校と合同で、おなじみの「シング・シング・シング」、「空の精鋭」の2曲を披露し盛会のなかで終了しました。



函館中部高校の見事なパフォーマンス！



アンコールは函館中部高校とコラボ演奏で最高潮！



# 北海道防衛局職員になって1年が経ちました ～先輩職員の声～



**調達部 建築課**  
**横川 哲哉**  
(よこかわ てつや)

昨年4月に社会人としてデビューし、希望に満ち溢れた気持ちで仕事に臨んでいました。仕事をバリバリこなし、驚く程の吸収力で知識を蓄えていくと、そんな自分を想像

していましたが、実際には何もできず、ミスも多くまわりに迷惑ばかりかけています。休日には食う寝るの繰り返しをして、気づいてみたら体重が10キロも増え、膝がきしみ始めたので、5月くらいから運動します。2年目からは、体に気をつかいながら、より一層の精進をしていきたいと思ひます。



**調達部 設備課**  
**比留川 拓**  
(ひるかわ たく)

神奈川から札幌に来て早1年、『試される大地』の生活にもやっと慣れてきました。私は現在、自衛隊施設の建設工事に係る電気設備工事の設計、積算及び監督業務に携わ

っています。入省直後は、大学で学んだ半導体と全く関係ない業務に戸惑いましたが、上司や先輩方の適切な指導のお陰で、今では照明器具が大好きになりました。特に好きな照明器具は、『逆富士型』と呼ばれ、シャープな本体に配された二本の蛍光灯が、その真白き富士の斜面に跳ね返る光と織り成す蘭の花のような美しい配光曲線を持っています。これからも「好きこそ物の上手なれ」を信条に頑張ります。



**企画部 周辺環境整備課**  
**畠山 彩夏**  
(はたけやま さやか)

私がこの職場を選んだ理由は、大学院で学んだ安全保障を仕事にしたいと思ったからです。入省する前は、防衛省の仕事イメージとしては知

っていても、地方防衛局の仕事はほとんど知りませんでした。私の所属する周辺環境整備課では、防衛施設の所在する地方公共団体等へ補助金等を交付する業務を行っています。当課で、私は体育館や消防施設など多種多様な補助業務に携わっており、入省当初は初めて触れる分野に右往左往する毎日でしたが、1年目を終えた今は、同僚の皆さんや上司の助けもあって少しずつ仕事がスムーズに進むようになってきました。2年目となる今年度はより一層充実した1年としたいです。



**調達部 土木課**  
**石上 翔吾**  
(いしがみ しょうご)

入省前、調達業務とは何か良く分からず不安でした。実際に働き始めても、分からないことばかりで、頼まれたことをそのまま実行することしか出来ませんでした。日々、様々なことを経験させてもらい、上司の丁寧な指導を受け、疑問は何を調べれば良いのかが分かり始めました。また、現場では自衛隊特有の工事もあり、それらの施工の順序を実際に見て学ぶことで、デスクワーク等に役立つことが実感出来、今は、自らがどんな仕事に携わっているのか理解出来ます。2年目は、1年目で学んだことを忘れず力にし、新しいことにも挑戦していきたいと思ひます。



**調達部 設備課**  
**柳澤 真**  
(やなぎざわ まこと)

私は大学院修了後に民間会社で3年間、産業機械の機械設計をしていました。技官に転職した理由は、機械設計の仕事が自分に合っていると思ったことに併せて、自衛隊の活躍を見て、私も防衛の仕事に関わりたい思いが強くなったためです。現所属である、機械設備職に興味を持った理由は、防衛省の説明会で「自衛官のための街造りが出来ます。」という言葉に惹かれたため、街造りをしてみたいとなりました。実際の街造りは大変ですが、一日でも早く重要な仕事に関われるよう努力し、自衛官が、街（駐屯地や基地など）で滞りなく任務が出来るよう、防衛技官として活躍したいです。



**企画部 周辺環境整備課**  
**佐々木 誠**  
(ささき まこと)

入省以来、周辺環境整備課において防衛施設所在市町村等への補助金等の交付業務に携わってきました。主としてこの業務は、防衛施設の使用によって何らかの障害を受けている住民の方々に対し、その障害を緩和するため自治体等が公共施設等を整備するときに補助を行うものであり、このことが地元自治体等との良好な関係維持に役立っています。また、経験豊富な自治体職員の方々とのやり取りを通じて未知の分野に関する知識を貪欲に吸収し、様々な知見を身につけられることからやりがいもあり、モチベーションの維持に繋がっています。



平和を、仕事にする

# 平成27年度 自衛官等募集



防衛省・自衛隊  
MINISTRY OF DEFENSE

募集種目	自衛官候補生 (男子)	幹部候補生		
		一 般		歯科・薬剤科
応募資格	18歳以上27歳未満の者	【大卒程度試験】 22歳以上26歳未満の者(20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)、修士課程修了者等(見込含)は28歳未満)	【院卒者試験】 修士課程修了者等(見込含)で、20歳以上28歳未満の者	専門の大学(見込含)20歳以上30歳未満の者(薬剤は20歳以上28歳未満の者)
受付期間	最寄りの自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。	平成27年3月1日～5月1日		
試験期日	最寄りの自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。	1次 5月16・17日(17日は飛行要員のみ) 2次 6月16～19日 海・空飛行要員のみ 3次 (海)7月13～17日(空)7月18日～8月6日		1次 5月16日 2次 6月16～19日
合格発表	試験終了後に通知されます。	1次 6月5日 海・空飛行要員のみ 2次(海)7月6日(空)7月10日 最終 (陸・海)8月7日(空)9月4日		1次 6月5日 最終 8月7日

◆他の種目や詳しい内容は最寄りの自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。



札幌地方協力本部  
011(631)5472



函館地方協力本部  
0138(53)6241



旭川地方協力本部  
0166(51)6060



帯広地方協力本部  
0155(23)5882

◆募集コールセンター「守ろうみんなの国」



**0120-063792**

年中無休受付時間 12時～20時



自衛官募集ホームページ  
<http://www.mod.go.jp/gsd/f/jieikanbosyu/>



自衛官募集携帯サイト



## 平成27年度 事務官等採用試験の日程

試験名		受付期間 (インターネット申込み)	第1次 試験	第2次試験	最終 合格発表	
国家公務員採用試験	総合職試験	院卒者試験	4/1(水)～4/8(水)	5/24(日)	6/28(日)(専門) 7/13(月)～7/17(金) (政策課題討議・人物)	7/31(金)
		大卒程度試験		6/28(日) (専門・政策論文) 7/2(木)～7/17(金) (人物)		
	一般職試験	大卒程度試験	4/9(木)～4/20(月)	6/14(日)	7/22(水)～8/10(月)	8/25(火)
		高卒程度試験	6/22(月)～7/1(水)	9/6(日)	10/14(水)～10/23(金)	11/17(火)
防衛省専門職員採用試験 (語学・国際関係)		大学卒業程度	4/1(水)～4/17(金) (郵送又は持参)	6/7(日)	7/13(月)～7/17(金)	8/5(水)

※採用試験に関する詳しい情報は、人事院及び防衛省のホームページをご覧ください。

### 4～5月の道内自衛隊の主なイベント

開催日	開催場所	イベント名	お問合せ
5月10日(日)	函館駐屯地	函館駐屯地 観桜行事	函館駐屯地 広報室 0138-51-9171
5月30日(土)	旭川市民文化会館 大ホール	第2師団音楽まつり	第2師団司令部広報室 0166-51-6111
5月31日(日)	東千歳駐屯地	第7師団創隊60周年及び東千歳駐屯地 創立61周年記念行事	第7師団司令部 広報渉外班 0123-23-5131
"	名寄駐屯地	名寄駐屯地 創立62周年記念行事	名寄駐屯地 広報班 01654-3-2137
"	鹿追駐屯地	鹿追駐屯地 創立58周年記念行事	鹿追駐屯地広報班 0156-66-2211